

在籍型出向制度 Q & A

Q メリットを教えてください。

A 出向元企業は休業人材を活用でき、雇用の維持が可能です。出向者は他社で一時的に働くことで視野が広がり、スキルアップが期待できます。出向先企業も労働力の確保のほか、出向者の働きで従業員が刺激され、職場の活性化につながります。

Q 出向先企業の職場環境や仕事内容が不安です。

A 産業雇用安定センターでは登録した企業にヒアリングを行い、マッチング候補が見つかり次第、双方を交えた面談を設けます。本契約後、出向前の準備として双方の企業の職場見学を実施するなど、手厚くサポートします。

Q 労働派遣との違いを教えてください。

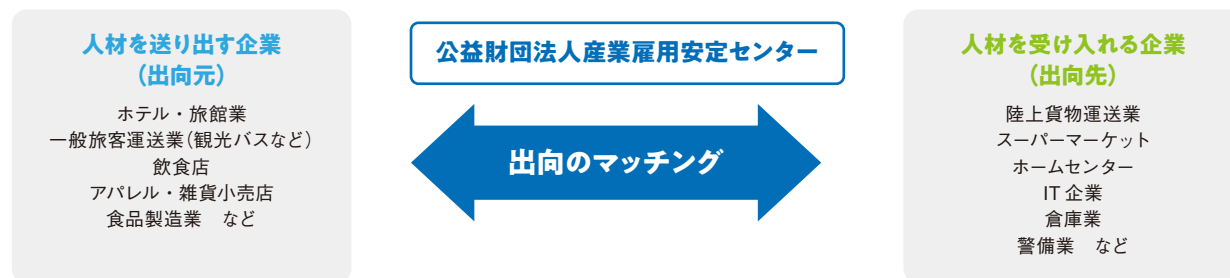
A 労働者派遣の労働者は、派遣元事業主のみと雇用契約を結び、派遣先と派遣労働者間は雇用契約を結びません。派遣先の指揮命令を受け、労働力を提供します。一方、在籍型出向の出向者は、出向元企業とも出向先企業とも雇用契約を結びます。

Q 出向先企業や出向元企業はどうやって探しますか。

A 産業雇用安定センター沖縄事務所では、新型コロナウイルスの影響により雇用過剰となった企業と人材不足の企業の間で行われる雇用シェア（在籍型出向制度）を活用した出向支援を無料で行っています。お気軽にご相談ください。

（公財）産業雇用安定センターでは、「在籍型出向」のマッチングを無料で支援しています。

- 産業雇用安定センターは、企業間の出向や移籍を支援することにより「失業なき労働移動」を実現するため、1987年に国と事業主団体などが協力して設立された公益財団法人です。設立以来、22万件以上の出向・移籍の成立実績があります。
- コロナの影響で一時的に雇用過剰となった企業が労働者の雇用を守るために、人手不足等の企業との間で在籍型出向を活用しようとする場合に、双方の企業に対して出向のマッチングを無料で行います。
- 全国47都道府県にセンターの事務所があり、企業の相談に応じています。



問い合わせ先

公益財団法人 産業雇用安定センター 沖縄事務所

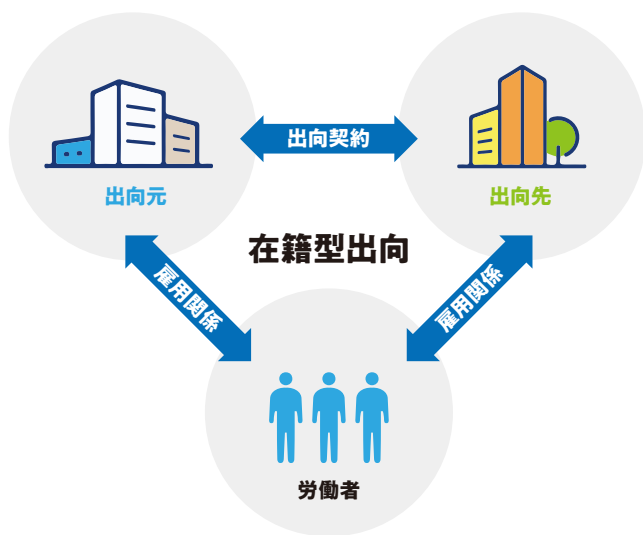
沖縄県那覇市松尾 1-19-1 合人社沖縄県庁前アネクス 9 階
TEL : 098-860-0750 FAX : 098-860-0760

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応休業者等マッチング事業

WHAT?

在籍型出向とは

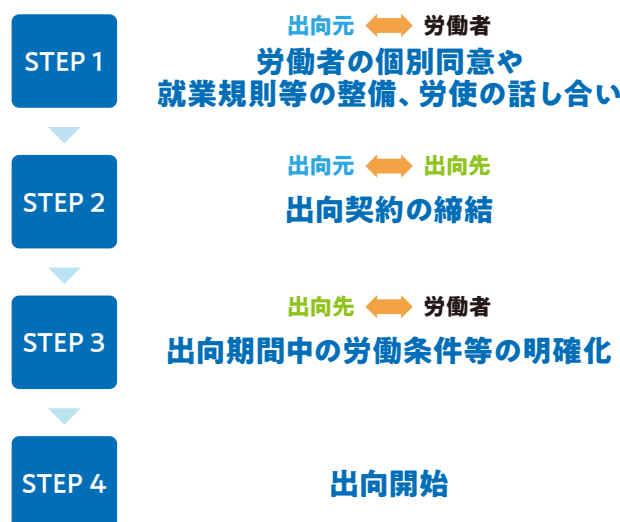
出向元企業と出向先企業間の契約によって、出向者が雇用契約を結び、一定期間出向先で勤務すること。出向先は従業員を解雇せずに雇用を維持することができ、出向先は良質な人材の受け入れで既存従業員の意識が向上するなどのメリットがあります。



HOW?

在籍型出向の流れ

在籍型出向は、労働者の個別的な同意または就業規則等の社内規定に基づき行う必要があります。在籍型出向をする際に、出向の必要性や出向期間中の労働条件等について、出向元企業、出向先企業、労働者でよく話し合った上で、出向契約の内容や出向期間中の労働条件等を明確にしておくことが重要です。

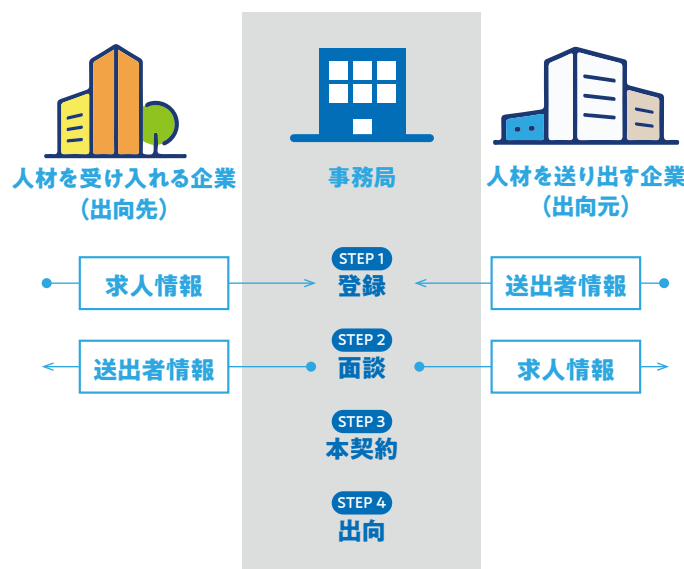


沖縄県新型コロナウイルス感染症対応休業者等マッチング事業の取り組み

● 本事業の概要

沖縄県では、令和2年度、3年度において新型コロナウイルス感染症対応休業者等マッチング事業を実施し、感染症の影響を受け、一時的な事業縮小等を行う企業と人手不足の企業間のヒアリングや必要書類のサポートを行うことにより、在籍型出向の活用に向けた支援を行いました。ここでは、本事業において成立した出向事例を紹介します。

● 本事業の仕組みと流れ



事例紹介

Case Study

CASE 1



コロナの感染拡大で直営店舗の休業及び店舗撤退等で人材過剰となり、企業経営に大きな負担となったので、雇用を守るため本事業を活用しました。

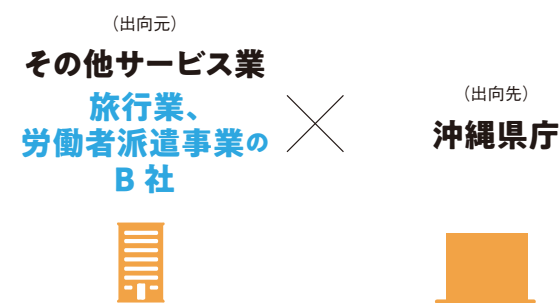
良かった点は、人件費等の抑制につながったことです。課題としては、出向先の業務に対する評価があると良いと思います。

出向者本人はいろんな企業の方と業務を随行できることで、他企業の業務の進め方や考え方などに刺激を受けたようです。

受け入れに際し、出向者が円滑に業務に従事できるよう、マニュアルを作成し説明を行いました。また、コミュニケーションを活性化するためにチーム制にしたほか、週1回の定例ミーティングも実施。

本事業を通して観光関連の様々な方と協働でき、情報交換の場になった上、観光推進団体とのネットワーク構築にもつながり、業界支援に少なからず貢献できたと思います。

CASE 2



当社は観光業界で人材派遣業を営んでいることもあり、コロナの影響で正社員、契約、臨時と雇用形態問わずスタッフの業務が激減していました。

本事業では、逐一事務局の方に相談しながら進められました。出向は、新しい経験を積むことができ、また新しい繋がりを構築できることも魅力です。全く違った業種の仕事をする機会に恵まれ、貴重な人生経験にも繋がったと思います。

コロナ禍における行政の支援のあり方などに対して、民間の視点や率直な意見などを伺えたことが良かったです。受け入れた方が、一定の実務的な知識やスキルを有し、かつ公的業務に対する高い意識を備えていて、業務に特段の制限を設けることなく担当してもらうことができ助かりました。

出向者の声

Voice of Experience

Aさん



観光業の各事業所の皆さんと一緒に仕事ができて、特に若いスタッフの方々からいい刺激をもらいました。短い期間でしたが、良いモチベーションで仕事をする事ができました。この事業に関わることができてとても良かったです。今回の出会いを今後も大切にしたいと思っています。

Cさん



民間から行政に出向しました。行政の動きを内部で知り、学ぶことができ、勉強になることが多かったです。また、今後大いに活かせることを身につけることができたと感じます。企業に勤め続けている中では、気づけないことにも気づくことができました。

Bさん



出向先では短期間にも関わらず様々な事業に触れつつ、一つの事業を任せていただきました。意見交換できる場もあったため、異業種間の交流ができ、お互いに様々な視点や価値観を取り入れる事ができたと感じます。半年の間でも視野が広がりますスキルアップに繋げることができました！

Dさん



本事業で出向を経験して、多様な意見を聞くことで視野が広がりました。連携の大切さを認識し、自分の会社を客観視することもできました。業務上の認識のズレを解消するのに時間がかかったので、スムーズに仕事を進めるシステムを構築できるといいと思います。